

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市郡山老人福祉センター
2 指定管理者	社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 13,692人(前年度比 94.5%) 令和5年度 14,486人 令和4年度 13,835人 《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 - 指定管理者に支払った費用 46,640千円(46,640千円) - その他市が負担した費用 1,325千円(0千円) 《収入》 - 使用料収入 0千円(0千円) - その他収入 0千円(0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 令和7年2月に利用者アンケートを実施。その他にも利用者向けに意見箱の設置や苦情解決相談窓口の設置など、利用者の提案内容や要望等に耳を傾けながら事業運営を行っている。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	25/25
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、管理運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
令和6年度においては、地域の関連機関との共催事業として、八本松市民センターまつり「うぶすなまつり」において「リフレッシュ体操」を実施したほか、児童館との共催で「七夕飾り作り」や「折り紙交流会」を開催し、多世代交流を図った。 さらに、「連坊まち歩き」や「歴史散策」、「はなまる体操」など、体を動かしながら脳トレができるイベントを通じて、他区からの新たな利用者の獲得を含めた集客を図った。 また、複合施設の強みを生かした地域還元の取り組みとして、デイサービスセンター、地域包括支援センター、ケアプランセンターと合同で「介護・健康のつどい」を年2回開催。高齢者の各種相談に対応するとともに、健康の増進や教養の向上を促進した。 加えて「生活支援通所型サービス（総合事業・基準緩和型）」では、併設のデイサービスセンターとの連携を強化し、地域包括支援センターからの体験利用者を積極的に受け入れた結果、目標定員である20名を達成。老人福祉センター利用者が体験を経て継続利用に至るケースも見られ、併設施設としての強みを生かすことができた。 その他地域のシニア男性を対象とした地域包括支援センターとの共催事業「シニア男性の畑づくり講座『あぐり郡山』」を、年間18回開催。野菜づくりを通じて地域でのつながりをつくり、社会参加や地域貢献活動へとつなぐ場を提供した。 併せて、当センターでボランティア活動を行う方々を対象に「元気Vサークル」を立ち上げ、機能回復訓練室を開放。運動しながらボランティア同士の交流を図る場を提供し、気軽に楽しく参加できる場として定着しつつある。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
令和6年度の施設運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。 併設施設との連携強化にも力を入れており、市民センターや児童館との共催イベントでは、子どもから高齢者までが一緒に楽しめるよう内容の工夫し、多世代交流を図っている他、「生活支援通所型サービス」では、目標定員を達成し、特に老人福祉センターの利用者が体験からデイサービスセンターへの継続利用につながるケースも見られたことから、併設施設との連携がうまく機能していたと評価できる。 地域のシニア男性向けの畑づくり講座「あぐり郡山」では、継続的な開催によって参加者同士のつながりが深まり、地域活動や社会参加にも寄与する取り組みであるといえる。 そして、ボランティアの方々を対象にした「元気Vサークル」を新たに立ち上げ、運動と交流を組み合わせた取り組みで参加者が気軽に楽しめる場として定着しつつあり、今後のさらなる拡大も期待できる。 以上の内容から、郡山老人福祉センターの令和6年度の運営は、総合的に高く評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課